

まちの話題

モトクロス全国大会出場



▲平安市長と握手する能塚智寛くん（写真右）

6月10日、能塚智寛くん（宝城中2年）が8月1日に宮城県で開催されるMFJモトクロス全国大会への出場を報告しました。

父親の影響で5歳から競技を始め、昨年はジュニアで九州総合ランキング2位という好成績を取めました。今年に入ってから国内B級にステップアップし、九州選手権など数々の大会で優勝を飾っています。

8月の全国大会では最年少出場ながらも「優勝を目標にしています。将来はプロを目指したい」と意気込みを語りました。平安市長は「優勝目指して、悔いの残らないように頑張ってください」と激励しました。

田植えを体験



▲泥だらけになりながらも丁寧に植えました

6月16日、小郡小学校5年生の児童122人が田植えの体験をしました。小郡校区の区長や学校ボランティアも参加して、もみまきから刈り入れ、餅つきまで行うこの取り組みは今回で11回目になります。

5月のもみまきから田植えまでの1か月間、児童は毎日水やりや手入れをして立派な稲苗を育ててきました。

農家の肥山徹さんの指導を受けながら、素足で田んぼに入ると、最初は戸惑っていましたが、約1時間半かけて田植えを終えた児童たちは、少し疲れた表情を見せながらも「楽しかった」と大変満足そうな様子でした。



こちら119

発行 久留米広域消防本部
三井消防署
☎ 72-5101(代)

水の事故防止

梅雨が明け、夏本番となると、海やプールでの楽しい行楽シーズンがやってきます。夏は水のある場所で過ごすことが多くなるため、水の事故が増加します。水の事故を起こさないように気をつけて楽しい夏を過ごしましょう。



1. お子さんは必ずお父さんやお母さんの目の届くところで遊びましょう。
2. 川や海では、少しでも雨が降ってきたり、風が強くなってきたりしたら、遊ぶのをやめましょう。
3. 水の中は体温が奪われやすいので、大人でも1時間遊んだら10分くらい休むつもりで。お子さんは体が小さい分、体温が下がりやすいので、もっと頻繁に休みましょう。
4. 体の調子が悪い時は、水遊びはやめましょう。
5. 水の事故は、川や海・プールだけで起こるわけではありません。
浴槽や、便器でも起こることを忘れないでください。
ふたの閉め忘れ、残り湯などにも注意しましょう。



いざという時のために、応急手当を覚えましょう！